

# 豊陵會報

Vol. **103**

2020年11月  
(令和2年)



豊陵ホールでの授業  
「100」の人文字  
(校舎屋上から臨む)

全教室プロジェクター活用  
昼食時の豊陵ホール

## 創立 100 周年へ着々と

— 「豊陵ホール」 始動等寄付金が生きています —

100周年記念祝賀会案内(裏表紙)と記念誌予約販売(18面)開始

100周年寄付目標額 1 億円ヘラストスパート=令和3年2月28日まで(6面)

コロナ禍と豊高(12面)

# 創立100周年を目前にして



## コロナに負けず、豊陵会らしく

### 100周年への活動を継続

豊陵会会長 高坂敬三



今年 は年明け早々から、降って沸いたような新型コロナウイルスという災厄に

見舞われ、未だに日本中がその対策に右往左往しているところですが、豊陵会の皆様にはご健勝にてお過ごしでしょうか。

豊陵会自身も世間のご多分に漏れず、予定していた各種行事が中止、

延期、縮小といったことを余儀なくされ、些か閉塞感に苛まされながら活動している状態です。一日も早くワクチンが開発され、ウイルスに怯える日々から解放されたいものです。

さて、いよいよ来年には創立100周年の記念すべき時を迎えます。実行委員会では来年5月7日(金)に開催されます記念式典及び祝賀会に向けて、新型コロナウイルスに臆することなく着々と準備を進めております。さすがにその頃には新型コロナウイルス

ス騒ぎも終熄して、マスクやソーシャルディスタンスも気にすることなく、晴れ晴れと記念式典を挙行できるであろうと念じつつ、豊高らしい式典を目指してさらなる努力を続けていく所存です。

なお、懸案であります1億円募金活動ですが、豊陵ホールの改装費用に充てるための特定寄付につきましては、おかげさまで所期の目標額6,000万円に対してほぼ達成し、早速夏休みを利用して豊陵ホールの改装工事を実施いたしました。出来上がったホールは、改装前とは見違えるばかりに明るく清潔に仕上がっており、在校生は殊のほか喜んでくれているものと思います。卒業生の皆さんにも是非一度お立ち寄りいただいで、そっと覗いてみられてはいかがでしょうか。

## コロナ禍の臨時休校と豊高生の高校生活

校長 平野裕一



令和2年4月7日、政府から緊急事態宣言が発出され豊高は5月末までの2カ月間臨時

休校となりました。

休校期間中は学力保障の観点から、郵送やオンラインにより学習課題を配信すると共に、動画配信やメール等による質問対応を行いました。また、限定的に認められた登校日には担任による生徒個人面談を実施し、進学相談やメンタルケアを行ない

ました。

6月から教育活動は徐々に再開されました。最初の2週間は短縮・分散授業(1クラス20人で半日だけ登校)で、本格的に授業や部活動が再開されたのは3週目以降のことになりました。授業日数を確保するため、夏休みはお盆の前後約10日間に短縮しました。再開後の授業風景は大幅に変わりました。豊陵会の皆様をはじめとする方々のご寄付により設置した各教室の液晶プロジェクタが大活躍をしています。また、教科準備室に設置された空調設備により、猛暑下においても教職員は快適な環境で教材

研究や生徒の質問対応に取り組むことができるようになりました。

9月に入り、文化祭は三密を避けるため一般公開はせずに開催しましたが、3年生の多くのクラスが従前通りレベルの高い演劇を披露しています。2年生の修学旅行も、行き先を変更する高校もある中、当初の予定通り北海道に行つてまいりました。

このように豊中高校の教育活動が順調に再開することができましたのは、「豊高生の自制的で理性的な行動」「保護者のお子様への絶大な信頼」「教職員の献身的な働き」に加え、「豊陵会の皆様方の経済的・精神的なご支援」によるものであります。

来年度の創立100周年に向け、豊中高校の充実・発展に微力ながら力を尽くして参ります。どうか引き続き、ご支援いただきますようお願いいたします。(高32期)

ご承知の通り我が豊中高校の校歌は北原白秋作歌、山田耕筰作曲というまさに我々の誇るべき宝であります。この程学校に保存されていた北原白秋の自筆原稿を拡大転写のうえ表装して、豊陵ホールの壁面を飾る予定です。豊陵ホールがなお一層引き立つものと思えます。

なお、募金活動のうち残る一般寄付は来年2月末までの期限ですが、これは主として後輩達の奨学資金に充てる目的のものです。現時点では未だ約2,000万円ほど不足しておりますが、豊陵会の団結の力を見せるべく頑張つて目標達成に邁進したいと思えます。新型コロナウイルスの影響で世の中の経済活動が停滞している現状にあつて、寄付をお願いするのは大変心苦しいところではありますが、後継者達に後輩達の為にも、ぜひとも心分のご協力をお願い致します。

また、100周年記念のロゴマークも応募作品の中から一年生が提案したものを採用しました。節目の100年という数字と銀杏と羽根の付いたペンをあしらった洒落たもので、豊高らしく皆様のお気に入つただけなものと思えます。

新型コロナウイルス騒動は、未だ終熄の兆しが見えませんが、このまま自粛自粛では窒息しそうです。後々振り返って、そんな中でも豊陵会は新型コロナウイルスに負けない活動をしてきたと誇れるよう、知恵を出し合つて一歩一歩進んで行きたいと思えます。会員の皆様には更なるご支援、ご協力をお願い致します。(高16期)



# 創立100周年の式典と祝賀パーティ

## あと半年、来春5月7日(金)午後から

いよいよあと半年に迫った記念式典・祝賀パーティの内容が百周年記念実行委員会の「式典部会」(須賀真充部会長)を中心に固まってきた。

◆ 記念式典 (午後1時30分～午後4時15分 豊中市立文化芸術センター大ホール)

◆ 全職員・生徒と関係者が参加 記念演奏と記念講演も

式典は午後1時30分(開場は午後1時)から、阪急曽根・豊中市立文化芸術センター大ホールで開催。来賓はじめ全校の教職員・生徒が出席するが、卒業生は限定された招待者のみ。定員の関係で1年生は隣接のアクアホールで生中継の画面を鑑賞する。

第1部70分、第2部75分途中休憩20分の2時間45分にわたる式典舞台は、第1部でダンス部がオープニングを飾り、主催者側の挨拶・来賓の祝辞、卒業生(高43・高54・高67の3人の音楽家が記念演奏を披露、第2部で高20村上優氏(8面にインタ

ビュー記事)の記念講演が行われ、音楽選択者と有志、さらに吹奏楽部が出演する。舞台進行は、毎日放送アナウンサーで高37古川圭子さんの指導により在校生が担当。卒業生と在校生、先生と生徒、先輩と後輩が共にこの100年に一度の機会に一体で取り組み、式典の感動的な盛り上げに力を尽くす。

◆ 祝賀パーティ (午後6時30分から ホテル阪急インターナショナル)

◆ 例年5月の総会と合流

祝賀に親睦を重ねて卒業生と多数の出席をお待ちします(裏表紙に案内) 記念式典終了後、会場を梅田に移し、午後6時30分(5時30分受付開始)から梅田・ホテル阪急インターナショナルで祝賀会を立食形式で開催する。パーティは豊陵会会員ほかPTA、豊友会(PTA役員)のOB会、関係者多数が参加して100周年のお祝いにふさわしい内容を企画している。豊陵会は多数の卒業生

の参加を目標に、例年5月開催の総会をこのパーティに合流して、独自の総会は別途、秋に開催することを決めた。祝賀パーティには式典で演奏を披露した3名の卒業生の記念演奏や、最近の母校を紹介する映像もあり、旧交を温め、卒業生並びに豊高関係者が共に創立100周年を祝う。

## ★記念式典出演者と講演者の紹介と内容

### 記念演奏会

尾崎勇太さん(高67) 昭和音楽大学を経て東京藝術大学器楽科フルート専攻を卒業。フルートを中務晴之、堀井恵、吉岡美恵子、上野星矢、木ノ脇道元に師事。クラシック、現代音楽を中心に、幅広いジャンルの音楽と関わる。自らも作曲を行うほか、同年代の音楽家の新作初演にも多く携わる。



辻本 玲さん(高54) 東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年ガスバール・カサド国際テコロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。使用楽器はNPO法人エイロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、貸与されている。



公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>

大澤美穂さん(高43) 桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科を経てブリュッセル王立音楽院卒業。第10回園田高弘賞、ピアノコンクール第2位、第47回ブゾーニ国際ピアノコンクールファイナリスト並びにブゾーニ作品賞受賞。欧州での演奏活動の後、帰国して東京と関西を中心に数多くのリサイタルを行う。その後モベルギー各地にてリサイタル。2007年はNHK「プレミアム10」に出演。現在はソロを中心に室内楽、TV、映画などで幅広い演奏活動を続けている。



在校生による演奏 歌劇「アイダ」より「凱行進曲」(作曲ヴェルディ)この曲は「アイダ」の劇中で、エチオピア軍との戦いに勝利したエジプト軍の栄光を称え、凱旋を祝う場面で演奏されます。音楽選択者を中心にして有志総勢約200名の合唱と、総勢約70名の吹奏楽部による演奏で豊中高校の100周年の栄光を称え、祝福の意を表現した大きなスケールの作品を目指している。

### 記念講演

村上 優さん(高20)

演題「三天、共に在りーアフガニスタンでの中村哲医師の仕事」

九州大学医学部卒業。国立肥前療養所に勤務。精神医学を専攻し依存症医学、司法精神医学が専門。国立病院(国立病院機構)の精神科施設の肥前精神医療センター、花巻病院、琉球病院、神原病院さいがた医療センターで勤務。その間 King's College London, Institute of Psychiatry & 司法精神医学を学ぶ。中村哲医師は大学と国立肥前療養所の先輩にあたり

1979年にヒンズークッシュ山脈のトレッキングで中村医師に同行。1983年中村医師の活動を支援するペシヤール会創立に参加、1992年事務局長、2006年副会長、2017年会長となり、2020年中村医師の後を継ぎ、Peace Japan Medical Services PMS総院長に就任。裏方として中村医師を支えた。



アフガニスタン国正装を身につけPMS総院長に就任する村上氏(写真中央) 写真=村上氏提供 2020年2月13日撮影

## 風のイメージと银杏の

### 「創立100周年記念ロゴマーク」が決まる

令和2年9月11日、豊中高校にて開催された創立100周年記念事業実行委員会役員会において、創立100周年記念ロゴマークの選出作品をデザインした高75越智一勝さんに、高坂実行委員長から平野校長が作成した表彰状が授与された。5月コロナ禍休校中の美術選択者1・2年生の課題対象と自治会の募集活動により校内で始まったロゴマーク募集の応募総数約180点のうちPTAが選定した最優秀作品となり、創立100周年記念事業に盛大な華が添えられた。



1年1組 越智一勝

豊中高校の学びと、シンボルである「風」のイメージから、羽根の付いたペン、またこちらにもシンボルである「イチョウ」を使い「100」を表現しました。

# 「特定寄付」は完了

## コロナ禍中も新設備が大活躍

記念事業のうち、教育施設充実のための「特定寄付」はこの2月で締め切り、目標額をほぼ達成した。

これをうけて実行委員会は「豊陵ホール」の新装整備、授業教室へのIT機器設置、教科準備室整備の3大事業の完成に取りかかり、関係者の協力で夏休み中に完成した。それぞれの設備はコロナ禍の中で機能を発揮、百周年事業の目的を果たした。

残るは「教育基金」新設など、「一般寄付」の目標達成への協力、呼びかけがポイントとなる。

### 「2021年100周年記念誌」

令和3年5月発行、予約販売開始  
令和2年内に、ほとんどの内容が完了

記念誌部会で進められる「100周年記念誌」の編集作業は、本年8月に表紙絵（作：高18飯田 誠）が決まり（18面掲載）、校正作業が大詰めを迎えた。

令和2年内に、すべての内容がほぼ揃う見込みとなり、令和3年1月～3月、3学期の学校行事やデータが加わり、5月の発行に向け、A4判300ページの印刷・製本の作業が開始する。

100周年記念実行委員会は、一般会員向けに記念誌の購入予約を始めた。（18面に募集案内）

### ヒマラヤ杉の記念植樹は 来年2月ごろ

校門のヒマラヤ杉の後継2世の植樹が来年2月に行われることになった。高さ3m以上の苗木選定を記念事業部会・湊稔さんらが中心になって進める。

### IT活用授業を生徒へ配信 コロナ休校中も授業に進化と充実 100周年記念事業

#### 「プロジェクター等IT機器の教室設置」が活躍

令和2年4月、コロナ休校指示で、新学期を校舎で迎えられなくなった生徒一人一人に対し、家庭学習により学業を滞りなく進めるため、「課題プリント」の「ゆうパック」個別発送作業等が始まり、異例で普段の数倍も多忙を極めた先生方に惜しみない努力があった。とりわけ、3月末に完工し、新たに教室に設置されたプロジェクター等のIT機器による授業を、若手各教科担当が駆使してビデオ配信、生徒がダウンロードして、さらに家庭学習の深化推進に役立てた。ITによる

授業内容の充実が図られ、すでに能勢分校と進めてきた新しい形の遠隔授業に加え、授業の仕方に進化があり、授業方法と学習効果、双方の向上があったと思われる。

このビデオ教材を受け取った新一年生の中には、自宅学習でありながら、新品の制服に袖を通して、勉強していた生徒もいると聞いている。

今回、各教室へのIT機器の設置は、令和2年2月29日までに寄せられた100周年記念事業の特定寄付金の一部、約1200万円により実現した。



## 豊陵ホールでのアクティブ・ラーニング

令和2年9月16日 豊中高校第2限＝英語科授業

今夏、休業中に特定寄付金を活用して、食堂の改装工事が進められていた「豊陵ホール」は、8月25日、稼動を始めた。2学期が始まり、すぐに授業への活用が始動、英語科、安福一貴首席（高57）の授業をのぞいてみた。

まず、生徒がホワイトボードなど準備し、会場設営が行われ着席、安福先生のパワーポイント資料＝いわゆる従来の板書、が映し出され、授業が始まる。コロナの影響でクラスの半数の生徒での授業となる。先生の指導のもと、①生徒4人1組のグループ5組（計20名）に予めそれぞれ英訳の課題が与えられ、②グループの中の1人の生徒が各グループのホワイトボードに答案訳文を板書し、③まずは4人のグループの中で討議が行なわれて答案が練られる。④さらに別のグループからの指摘を受ける。おかしい、気になる、他の表現がある等と思うところに赤のアンダーラインがそれぞれ入る。⑤最後に安福教諭が、指摘・評価をそれぞれのグループに行い、最後に解説を交えて模範解答をメインの画面で示す。

終始、課題訳文に集中して、1人から仲間、さらに別のグループの仲間、加えて先生と積み上がる段階を経て、生徒も仲間と議論し、先生の解説も熱心に聴き、楽しんで取り組んでいた。

午前の授業中、従来通り食堂としても活用される豊陵ホールには、調理の香りも漂い、生徒達は、向学心と食欲、あらゆる感覚に刺激を受けていたことだろう。



③グループでの討議



⑤先生の解説を熱心に聴く生徒

## 「100」の人文字を撮影

ドローンが校庭に飛来

10月13日のお昼前、ドローン1機が秋晴れの豊高校庭上空にやってきた。

校庭には中間考査が終り、創立100年を表す人文字「100」に並ぶ生徒のほか、平野校長はじめ職員・全校生徒に加え、午後の会議に出席の豊陵会・高坂会長・三木副会長らも澄みわたった空を見あげて、ドローンの飛来を見守った。

「間もなく本番です」「みんなマスクを外して喋らないように！」。

撮影は成功。写真は来年5月発行の「創立100周年記念誌」の巻頭グラビアページを飾る。（下の写真）

## 後輩の活躍は先輩の活力

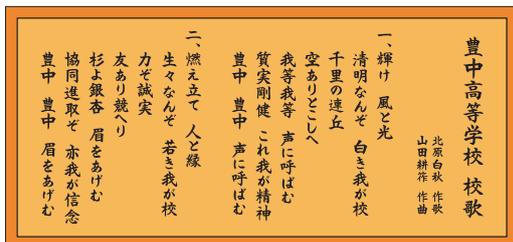
# 創立100周年記念事業



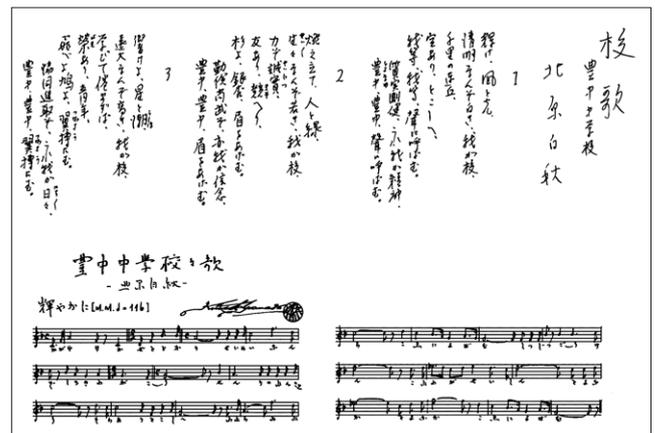
「100」の人文字

## 校歌レリーフは、令和2年末までに設置

校歌レリーフ製作設置は、総務部会で書体・材料等の検討が行われ、北原白秋（作歌）山田耕筈（作曲）自筆原稿を拡大した「豊中中学校校歌」を豊陵ホール、「豊中高校校歌」を体育館に設置することが10月に決定。令和2年末までには、設置される予定。



体育館に設置される校歌レリーフイメージ



豊陵ホールに設置される校歌レリーフイメージ



# 「豊高教育基金」設立めざし

## 百周年募金、後輩へ、

## 先輩として最大限のパワーを

昨年3月にスタートした創立百周年「1億円募金活動」は

「豊陵ホール」の新設など母校の施設充実のための「特定寄付」は、ほぼ目標を達成して縮切り、予算を使つての関係工事は8月に終了し、すでに活用されている。

一方、「豊高教育基金」の設立を柱とする「一般寄付」は「コロナ」の影響もあつて6月以後の募金が伸び止まり、あと2、400万円の目標額達成が記念事業実行委員会の最後の課題となつてきた。教育基金の新設は「海外研修などグローバルに活躍できる人材育成の一端を支援すること」を目標に百周年事業に取り上げられたもので、府の財源では支出できない本校独自の事業である。他府県では百周年事業の第一に「海外留学制度の設立」を挙げている高校が

ある。

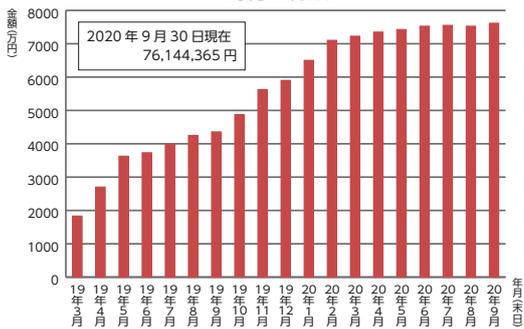
10月25日の第2回評議員会

では、2,050件1,853万円のままで停止状態(9月末)の「一般寄付」目標の達成に対し、今後の募金活動について、「コロナで伸び悩んでいるから無理をしなくてもいいのでは」という意見も出されたが、募金全体を担当する三木俊博副会長は「足踏みしている寄付金の状況ではあるが、後輩、在校生に対しては最大限のことをやっていたい。先輩として悔いの残らない募金活動を最後まで行う。」と述べた。

これまでの活動の他に新たに芳名録に掲載の協賛広告募集を加え、募金活動を世話役から、さらに支援する有志に拡大し、まだ寄付のない同窓生や法人団体に声をかけ、既に寄付をした同窓生にも、追加で寄付を呼びかける。

募金現況は卒業期別のばらつきが大きく、評議員の呼びかけを中心に募金参加が多い卒業期がある一方で、期全体に募金活動が周知されていないと思われる卒業期があり、「空白卒業期」への呼びかけも大きなポイントになる。(左ページ7面のグラフ)

寄付金総額



### 令和2年度第2回評議員会

## 募金活動は、協賛広告募集が加わる

### 総会は来秋開催

本年度第2回の評議員会が10月25日、百周年募金・特定寄付の予算で新装になった「豊陵ホール」のお披露目を兼ねて同ホールで開催された(写真)。

衣さんの5名が承認された。続いて2021年度活動計画では、100周年祝賀会の参加促進と共に、総会を来秋に開催することが決まった。

ホールは以前の食堂スペースを学年集会・大きな会議に使用できるように会議用機器・椅子などを整備した多目的ホール。

目標に対する不足額、2,400万円について、多くの意見があり、今後の募金活動について三木副会長から、先輩として後輩にできる限りのことをして悔いを残したくない、と発言があり、これを受けて、高坂会長が、「数多くのお声かけで、寄付によってたくさんの方を繋ぐ豊陵らしい活動としてほしい」と述べ、新たに協賛広告募集を加えた募金活動が承認された。

評議員会の議題は100周年記念事業、次年度計画、幹事・評議員の選任などについて。開会あいさつで高坂会長は百周年事業について豊陵会各位の協力に感謝するとともに、残る募金目標達成のためにいっそうの支援を依頼した。続いて平野校長が「コロナ」に関わる学校の動きを報告、進学状況で阪大への伸びが好調であった等を述べたあと、特定寄付で学校施設の進化への感謝を添えて100周年へ同窓会としての継続支援をお願いした。

高坂会長が議長席につき、まず、幹事に高21加堂裕規さん・高48古澤頼秋さんの2名、評議員に、高21牧野隆さん・高55川口峰広さん・高72小西遥登さん・高72藤原碧土さん・高72碓本優

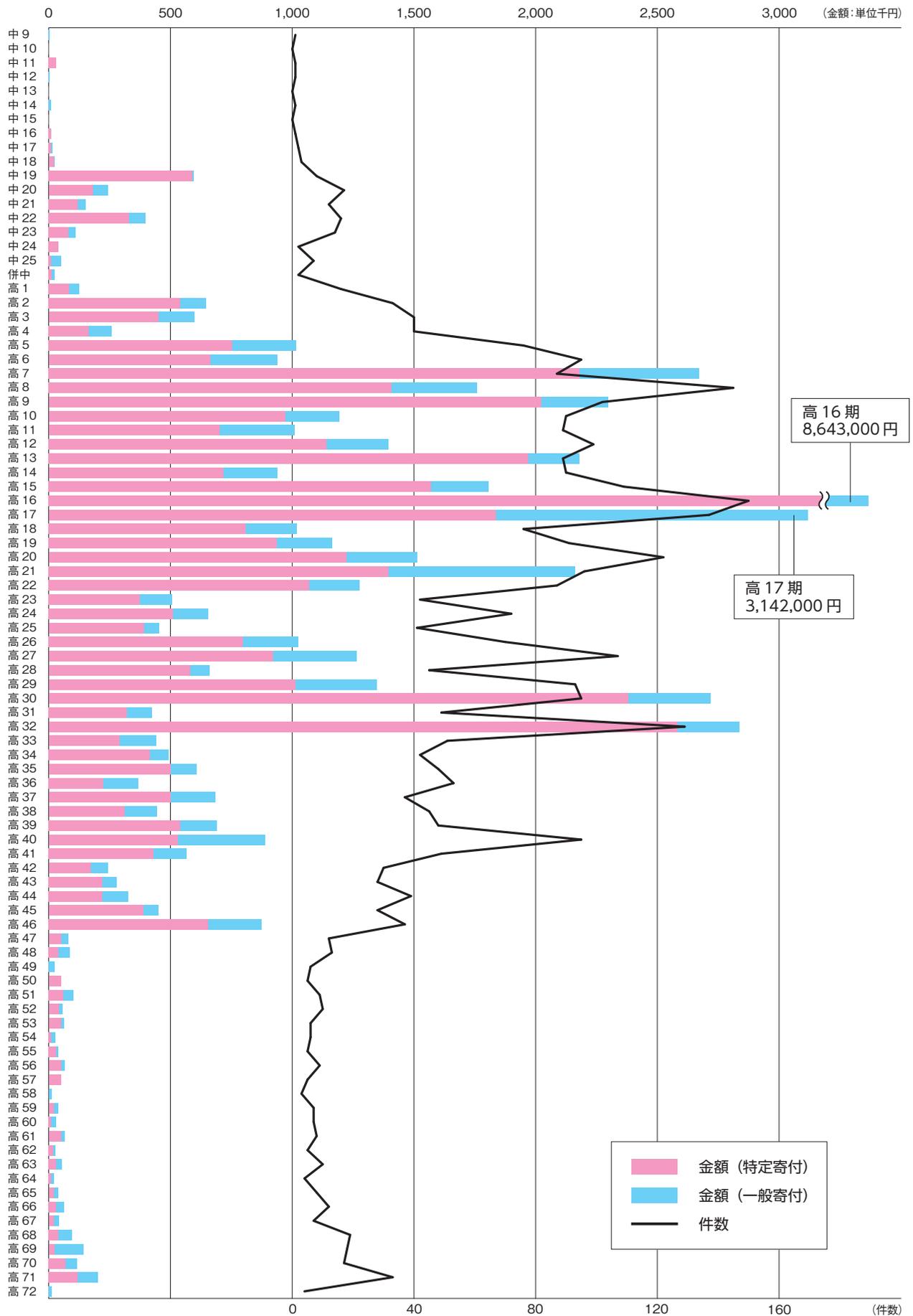
2月中旬の開催の予定。

次回の評議員会は2021年



在校生のための募金活動を(令和2年10月25日 幹事・評議員会 於：豊陵ホール)

# 期別寄付金額・件数



命をつなぐ

「緑の大地計画」を推進

このたびは、母校創立100周年記念式典の講演をお引き受けいただき、たいへんうれしく思っています。村上先生は、昨年12月、現地武装勢力の襲撃で亡くなられたPMS総院長の中村先生の遺志を引き継ぎ、同総院長に就任され、今までのような活動をされています。

PMS (Peace Japan Medical Service) 平和医療団(日本) 総院長中村哲(てつ) 医師の36年間にわたるペシヤワール会/PMSの活動は、当初、主にハンセン病患者やアフガン難民への医療支援が目的で始まり、戦乱、大旱魃に見舞われ、砂漠と化していく広大なパキスタン北西辺境州「ペシヤワール」および国境を接するアフガニスタン東部山岳地域に医療、灌漑水路設置および農業開発を進めています。この「緑の大地計画」は「食糧が作れなかったら命は救えない」との思いで立てられ、現地の人々の命をつなぎ、困難な状況で食料自立を促進する目的としております。ペシヤワール会はこの中村医師の活動を広報や人材交流を通して財政面での支援をする目的で1983年に結成されていました。

惜しくも中村医師が凶弾に倒れ、長年共に活動し、ペシヤワール会事務局長、その後は会長を務めていた私が、アフガンのPMS職員の要請で総院長を引き継ぎ中村医師の事業を継続し、その夢を引き継ぐ決意をしました。「今後さらに20年間にわたり

誰もやりたがらないことをやる

携体勢を整える途上の事でした。現地活動を正しく伝え、中村医師の行動を理解していただくことを事業の継続の柱としており、近年ではアフガンスタッフやアフガン政府関係者の日本での交流にも尽力してきました。「ここに至るまで数々の困難が



令和2年10月3日  
ペシヤワール会総会にて  
(スライド中央は中村哲医師)

ペシヤワール会会長/  
PMS 総院長

高20 村上 優さん

現地事業が自立するまで支援するように」との生前の中村医師の要請で、3年前より、アフガン現地組織であるPMSと密な連携をする目的で、従来から全てボランティアで行われていたペシヤワール会の中に、中村医師と現地で20年にわたり行動を共にした藤田看護師を室長とする専従者「PMS支援室」を設置しました。中村医師の死は、PMS支援室が推進する、医療・水利現地PMSスタッフとの連

あつたかと思いますが

ハンセン病が発生する地域は貧しいところが多く、くわえて戦争と旱魃で、戦争難民だけでなく飢餓難民となるしかない状況でした。これらの状況は日本には伝わらず忘れられています。日本の医療機器を駆使した医療でなく医師が触診して理学的所見をとり少ない検査体制で診療を行い、用水路も機械力に頼るのではなく、日本では江戸時代に造られた山田堰(1790

年完成)の技術を用いるなど、現地の生活や自然と折り合った方法を講じています。

2000年の大旱魃では、アフガン東部山岳地帯に設置していたダラエヌール診療所で食糧不足と不潔な水で赤痢などの患者が急増したことを契機に、井戸掘り事業が始まり1600本を作りましたが、旱魃はさらに広がりました。地下水の枯渇で井戸がすぐに枯れていくのを見て、7000m級のヒンズークッシュ山脈からの雪解け水を集めるクナル川から水を引く用水路計画を中村医師が提唱し、2003年着工。2010年に全長25.5kmのマルワード用水路の完成、その後2019年までに8か所の取水堰を建設し16,500ヘクタールの農地が回復し、砂漠も緑化をしました。65万人の農民の生活が支えられた時には大きな喜びを現地の人たちと分かち合いました。

「二隅を照らす」  
生き方の共感

村上先生が事前に送って下さった「ペシヤワール会報」に、カラーで緑の大地に変わっていく写真があり、私もたいへん貴く壮大な事業と感動しました。これを立ち上げる中村先生の死は本当に残念なことと思います。

中村先生は、九州大学医学部

の2年上の先輩で、1974年、大学卒業後に、中村先生の勤めていた国立肥前診療所(現・国立病院機構肥前精神医療センター)に入り、そこから実質的な付き合いが始まりました。1979年にヒンズークッシュ山脈のトレッキングに誘われ、当時はソ連のアフガニスタン侵攻の影響で約1カ月の足止めをさせられ、山中で満天の星を眺めながら医療のことから人生のことまで語り明かしたことを思い出します。そのとき、人間の命や生き方について中村先生の思索の深さと広さに感銘を受けました。

中村先生は、1983年、パキスタンのペシヤワール・ミッシオン病院に派遣が決まり、それをきっかけに私も参加してペシヤワール会が発足、1992年、前任の事務局長の死去に伴い事務局長を引き継いで今日まで一緒に活動をしてきました。

中村先生は現場の人であると同時に、多くの言葉をその著書やペシヤワール会報に残しています。今後の活動は中村先生の意志も、その夢も引継ぎ、彼の存在の息吹を感じながら継続していこうと思っており、その時々状況と発した多くの言葉の集積は、九州大学中央図書館が、中村先生の活動記録として、データベース化を計画してくれています。「二隅を照らす」「天、共

に在り」と語り、「JUST DO IT (実行あるのみ)」と示してくれた行動力と胆力を身近に感じてこられたことを幸せに思います。私亡き後も、中村先生の壮志を推進できる体制を整えたいと願っています。

### 自分を置いて、心豊かに

―村上先生は、どうして医師を目指されたのですか。

医学部を志願したのは、父親が外科医でずっとその背中を見ていたからだと思います。大学は、まずは「合法的な家出」として、遠方に出たかったのが大きな理由(笑)で、豊高で生物科の先生が東北大出身で面白く、親に東北大に行きたいと申し出たところ、兄が九州にいたので同じところにしろと言われ、九州大を志望しました。

精神科医の道に進んだのは精神医療の変革を夢見て、精神科医療の法的側面に誰も手を着けようとしないうことを知り、法律にも興味を湧いたためでした。

世のため人のためとよく言われていますが、死を迎えた時にいい人生だったと、心豊かな人生を望んでいるのでしょうか。

誰もが好む経験よりも、誰もやりたがらないことの経験に、中村先生に出会ったように新しい大きな出会いが生まれ、心の豊かさが育まれると思います。

医療現場で働くようになって

からは、誰もしたがない依存症や司法精神医学を手掛け、様々な地方の公的医療現場に自ら志願して赴任し、立て直しや活性化に寄与できたと自負しております。

―どんな豊高生活でした？ その体験と一緒に後輩たちにメッセージをお願いします。

豊高時代は、山登りによく行って楽しんでいました。その山登りの体力をつけるために剣道部に入りました(笑)。和気あいあいと、ギスギスしたところのない豊高生活、部活から帰り、食事して、すぐに眠り、自ずと計画をしていたのか朝からコンスタントに勉強もして、試験があるからあせって勉強した記憶もなく、あんまり目立ったことはしなくて、ほんとうにゆつたりと過ごしていたと思います。

今の豊高生がどんな考えや過ごし方しているのか具体的にわかりませんが、自らの損得は置いて、自然や未来、そして人の生活・人生と広く大きな視点に立って、新しい出会いと経験を生み出し、心豊かに歩んでいってほしいと思います。

―本日は、ほんとうにありがとうございました。創立100周年式典での講演も楽しみにしております。

(令和2年10月5日)

新潟―大阪間リモート会議にて

南里卓彦



### 令和2年春の叙勲 (令和2年4月29日発表)

- 高10木原敬介さん 元堺市長 旭日中綬章
- 高17柏原正樹さん 京大名誉教授 瑞宝重光章

■ 高8新宮 晋さん 「地球アトリエ」構想展が令和2年9月22日から10月9日まで兵庫県立美術館で開催される。一世界に一つしかないものを創る楽しさ!夢を形にする喜び!「地球アトリエ」は、三田市にある県立有馬富士公園内、「新宮晋 風のミュージアム」の隣に建設が予定されている芸術・文化施設で、様々な分野で活躍する芸術家・科学者たちと一緒に地球の未来について考え、発表、発信をする。森と湖に囲まれた自然豊かな環境の中に木造の建物群が広場を囲んで繋がっている。イメージスケッチと20分の1模型などで「地球アトリエ」を紹介。令和2年12月11日から15日まで、三田市の郷の音のホールでも同様の展覧会が開催される。

■ 高13北 修爾さん 阪和興業元社長・第23代同窓会長。令和2年4月23日、母校へ「パピルス」が贈られた。この「パピルス」は、北さんが、現役社長時代に中東の取引先からいただいたエジプトの「パピルス」で、生徒が世界史の授業で、ぜひ本物に触れてもらえればとの思いから寄贈された。(令和2年4月24日豊中高校ホームページ「校長室より」)



■ 高17柏原正樹さん 令和2年4月、自身が所属する京大数理解析研究所が編集し、欧州数学会が発行する権威ある専門学術誌「PRISM (プリズム)」の特別号の共同編集委員長として、数学の未解決問題=超難問「ABC予想」証明論文の審査に携わる。

■ 高37守本正宏さん 令和2年4月23日付日本経済新聞電子版。自身が代表取締役社長を務める株式会社FRONTEO(東京都港区)が、既存薬を別の病気に転用する「ドラッグリポジショニング」の研究に使える人工知能(AI)を開発、新型コロナウイルス感染症の治療薬の候補を既存薬の中から複数見つける事に成功した。製薬企業に情報提供し、治療薬の臨床試験(治験)や早期承認につなげることを目指す、と報じた。

■ 高43大澤美穂さん 9月30日20時「オンラインで聴く!室内楽ライブコンサートGift of Music 音楽の贈り物」(<https://youtu.be/HalW1VM8n4o>)を開催。コロナ禍で6・7月のコンサートを中止し、自粛生活を強いられる中、音楽に何かできないかと、たまたま出会った大学の同級生と企画した。「シューベルト『ます(鱒)』などの明るい演奏を安心して聴いて、軽く晴れやかな気持ちになっていただければ」との心のこもる演奏をオンラインで披露した。

■ 高54川上博之さん 令和2年9月18日朝日新聞デジタル。医師免許を持たずにタトゥー(入れ墨)を施したとして医師法違反の罪に問われていた控訴審を担当。「タトゥーは医療行為ではないとして」平成30年の大阪高裁の無罪判決を、令和2年9月16日、最高裁が上告を退け、無罪が確定する。

■ 高56高橋留唯さん 令和2年6月15日、母校にマスクが贈られる。医療従事者を志していた高橋さんは、国家試験合格を機に、コロナ禍の中、大学医学部附属病院に就職し活躍中。マスク受け取りの報告を聞いた豊陵会事務局は、高橋さんの心遣いと同窓のつながりに、たいへん温められた、と喜びの感想を語った。

■ 高73村越 桜さん 広報とよなか令和2年4月号「夢・きらめき豊中っ子」に掲載される。幼少のころから歌うことが大好きな村越さんは、小4で「すいたティーンズクラシックフェスティバル」に初出場、合唱とは違う「自由に自分の表現で歌えるのが楽しかった」と声楽の魅力を知り、中2で同コンクールにもう一度出場、声楽部門で中学生以下では初の「さつき賞」を見事受賞する。音楽大学への進学を意識し始め、音楽・声楽の勉強に勤しむ中、高2で「第11回東京国際声楽コンクール」西日本準本選をモーツァルトの「フィガロの結婚」を歌い9位入選、全国大会では、モーツァルトのオペラ「ドン・ジョバンニ」の中で歌われるアリア「恋人よ、さあこの薬を」を選曲し、本番直前の舞台袖では、歌詞の順番が不明になりパニックになるも、「歌詞や心情を大切に、練習を重ねた」という村越さんは舞台上で歌い始めると自然と歌詞があふれてきたと言う。結果、全国大会第五位、思わぬ好成績だった。将来、「どんな道に進むとしても、歌い続けたい」と夢を語る。

# 豊中高校創立百周年の夢

思い出を積み重ねて大切な思い出記録も写真もないけれど...

## ■平和な時代、幸せに思います

中23 飯島 宏

中学3年生にちょうど上がった頃に、私たち全員が、当時、三国にあったアルミの鋳物工場に勤労働員となりました。18歳の時です。飛行機の部品に使われていたと思うのですが、木型を砂に埋めて砂型を作り、その砂型にピンク色の溶けたアルミを流し込む光景は、よく覚えており、机を並べたというよりも、仲間と肩を並べて、汗をかいておりました。工場で出される、お昼ごはんは、豆メシと言って、米不足のため大豆を加えて一緒に炊いたごはんとおかずがなんだったかは、覚えておりませんが、とてもありがたく楽しみなことでした。戦争が、本土に及び、工場の事務所も空襲に遭い、豊中駅付近にも、何発か落ちたと記憶しております。私自身が豊中中学の近所に住んでいたのですが、学校と工場で会う仲間の書類の通信役や、夜中でも空襲の際には、学校に駆けつけて、学校を守る役をやっていました。ご承知のとおり、昔の校舎に機銃掃射のあとがあり、この時は突然でしたので、自宅におりましたが、バリバリとたいへんな音がして、怖かったです。あれから平和な世の中が続いて、今の時代の生徒さんにも、ほんとうによかったと思っております。

## ■バスケット人生の原点

高1 西島 靖之

私は、高校1回卒の西島です。現在、豊高籠友会の名誉会長をしています。今年はコロナの関係で流れましたが、毎年3月末頃に母校の体育館で総会を開いています。終戦まで剣道をやっていたのですが、面白そうな籠球部に入学しました。その時代、体育館は無くアウトドアに地下足袋で練習をしていました。コート開きの時は多くの先輩方も来ていただきローラーを引き地ならしした記憶があります。ボールは砂だらけ試合は体育館のある茨木高校、北野高校、大教大池田分校、豊中高女（今の桜塚高）などでした。同期生は、豊島悦治（交流なし）、小林三郎（他界）、田中忠人（所沢健在）、木村幸夫（他界）、神戸大バスケ、相馬良行（他界）でした。府下大会で北野高校、天王寺高校、八尾高校、豊中高校のベスト4となり、優秀な結果を出しました。下級生に竹中（他界）、池田、小野、吉村（他界）、寺町達がいきました。大学に進学して続いていたのは、私と木村君の二人でした。平成21年3月、ホテルアイボリーで85周年記念パーティを行い、記念誌も発行しています。在校時、馬場江崎部長先生にはいろいろとお世話になりました。私はバスケット人生の原点だと思っています。同志社大に入学、バスケット部に入部、監督

## あと半年

関西学生連盟理事長、会長代行、顧問と道が続けました。現在でも観戦に行きます。

## ■「慧眼」岡田校長に感謝

高2 中西 寛治

大昔、第二次世界大戦中の昭和19年4月に豊中中学に入学し、敗戦復興混乱期の25年3月に豊中高校を卒業しました。我々の豊中・豊高は6年間で人生の最も大切な時期を戦争、勤労働員、飢餓、敗戦、米軍の占領という「今では理解困難な生徒生活」を豊中で送りました。現在、我が校は優れた進学校です。その萌芽が昭和24年春の学校始動による「無料補習授業」にあると考えています。岡田剛校長が「北野に追い付け」との全校目標を掲げて放課後の無料補習授業を断行したのです。当時は「塾」は皆無に近く、我々生徒も「のんびり」と過ごしていました。この補習授業の成果は大きく、昭和25年の大学入試で、東工大1名、京大15名、阪大30名、神大11名等々と当時としては画期的な成果で、今日の発展の幕開けとなりました。

岡田校長が我々悪ガキ生徒の素質を見抜いておられた、その「慧眼」に感謝です。

## ■体力作りを支えたクラブ活動

高15 中出（村田） 幸子

豊高時代の担任はB組で三年間、松浦先生でした。クラブ活動も活発な校風が良かったです。思い出と言えは食物クラブでしょうか。

文化祭では、一、二年の時は上級生に習って、カルピス（調理室で部員が手作りした物）を販売しました。三年になって趣向を替え、三色おはぎ（これも手作り）を販売した時は、たいへん好評で、作るのが追いつかない程でした。

また、夏休みには体育の北坂先生に頼まれ、女子バレーボール部の校内合宿での昼食作りを引き受けました。此方の部員六人も合わせて総勢十何人分の昼食作りは、毎日汗だくになって、豊高の調理室に一週間通いました。

その甲斐あって、先生に料理上手と褒めて頂き、部員の方々に感謝されたことは、その後の人生でたいへん意義深い糧になったと思います。お互いの部員同士仲良く食事が出来たことも、楽しかった思い出の1コマです。顧問の茅野・高野両先生方には、たいへんお世話になりました。ほんとうにありがとうございます。



高1のバスケットメンバー

## ■今の私があるのは

高18 古川 美重子

豊高の合格発表の日、父が先に見に行つて後から行った私に合格だと告げたので自分の受験番号をドキドキしながら見つけると言う感動を味わうことは出来なかった。父が見に行くなんて意外だったが年を重ねる度に父の思いが伝わってくる気がする。勉強が好きで弁護士になつたかたつたと言う父は商売人に学問はいらぬと言ふ環境で思ひは叶わなかった。だから娘が名門豊高を受験できたことだけでも、うれしかったのだと思う。一生懸命働いても自分のためだけの生活など何一つしなかった父、そして大らかな母、そんな両親と豊高ハンドボール部のお陰で今の私がある。

あのオカポンと中学時代の先輩に誘われて入ったハンドボール部。放課後の練習、朝練、春夏の合宿、実業団へ遠征したことも。熱心に指導して下さった岡本先生、山本先生、よく練習にきて下さった先輩方、ハンドボールでの数々の貴重な経験がやりがいのある仕事に進む道を開いてくれた。

## ■豊高時代の思い出やごえび

高21 吉田 優子

私が豊高に在籍したのは今から半世紀以上前になりますが、パンカラの北野、やんちゃの池田と比較して「ぼっちゃん高校」と呼ばれ(因みにお嬢ちゃんはおらずほとんど女史でした)る穏やかで自由な校風でした。

そんな中、一大事件が勃発しました。ある日校庭に正に「杉よ銀杏よ」のテラスに凄い人だかり：遠巻きに様子を窺っているとうやうやケンカらしいとのこと。翌日同級生が顔を腫らした目の周りに痣を作つて現れ、上級生グループにからんで殴られたそうです。しかしその後、見上げた奴と評価されその上級生グループに可愛がられたとか。構内での暴力事件にも自主独立

を尊ぶ？高校でした。

もう一つ印象的な出来事は、当時飛ぶ鳥を落とす勢いの政治家日氏のホームカミング。全校生徒が校庭に集められ講話の後パンザイを求められました。これも自由で、半数は従いましたが大勢が抵抗しました。時は60年代学生運動の走り、のどかな豊高キャンパスでも教室封鎖が始まり、私達の大学受験時には東京大学封鎖が入試事情が混乱しました。

そんな激動の豊高時代でしたが、ここ15年程大小の同期の集まりがあり、当時の記憶にない人たちの交流も増え、「豊高21期」それだけで楽しく語り合えるのは有難いことです。僅か3年ですが今では大きな大切な3年と感じています。

## ■放送クラブで

めざせ 櫻井よし子さん！

高26 横井 葉子

根っからの体育会系女子で(原文の経過と好成績略)にもかかわらずにもスポーツ一筋の小・中学生時代からスポーツは一旦おいて文化部を、女性でも一生の職業を身につけることを念頭に学業にも力を入れて」と熱望。白羽の矢を立てた放送クラブが私の魂へさらに火をつけることに。

NHK主催全国放送コンクールのアナウンス部門に軽い気持ちで応募。新聞の記事でみつけた「環境週間」のデモテープを送ると府大会出場資格をゲット。自身の作成原稿と直前に渡される初見の原稿を読んだの審査で思いもよらず一位、各県代表は各NHKにて特訓をうけることになりました。まさか高3夏休み1カ月を馬場町へ通いつめることになるとは。菊谷アナウンサーがNHKのアナウンサーを目指せと関西訛の修正や早口言葉、一定速度で正確に原稿を読むといった熱血指導。47校出場の全国大会は、神奈川の名門高が上位を獲得して予選敗退でし

た。紛れもなく高校3年間の集大成を飾る深い思い出となったことに違いありません。

高3の秋、私にはプロのニュースキャスターを目指そうという夢が芽生え、TVでは櫻井よしさんに憧れていました。しかし、父はメディアという煌びやかに映る世界は猛反対。両親はいつしか医学の道を勧め、大学受験まであと半年の迫りつめられた状況になつても目標が定まると、脇目もふらず全力で打ち込めたのは放送クラブ等のお陰で、残された時間は死に物狂いで猛勉強女子に変身。担任の山崎浩和先生に「英文科と医学部を受験：本命は？」と聞かれて私は思わずアナウンサー、母は医者ですと同時に発声、先生が苦笑されたことが昨日のように思えます。現在は豊中駅前皮膚科を開設して早30年を超えました。将来を担う若い細胞の皆さん、心に響くアイテムとの出会いを見逃さず真剣に没頭、そして共に切磋琢磨してゆく仲間を宝に進んで下さいね。

## ■時代は変わっても

高29 前田(吉川) 妙子

創立100周年おめでとうございます。合格者番号が掲示されたボードの前で喜んだ事が思い出されます。文化祭や修学旅行、そして中庭や食堂で友と語り好きなだけ笑い、存分に思い出を作れたこと、それが当たり前ではなかったこと、このコロナ禍で後輩達が随分制限を受けた高校生活を送らざるを得ないことに想いを馳せています。

小中高大とそれぞれの時を楽しく過ごしましたが、今私がお世話になつていらっしゃる先輩方、仲良くしてもらつていらっしゃる友人の殆どが豊高出身で、卒業後何十年も経つてからご縁のあった方々も多いことに驚きます。素敵な人たちが同じ学校に通つていたという事を、高校生の自分に教えてあげたい気持ちでたくさんのご縁に感謝しています。高校生活のひとこま、ひとこまはとて

も大事ですが、母校を想う仲間との縁を大切に繋ぐことは生涯自分を豊かな気持ちにしてくれるのだとこの年になってしみじみ思います。

母校とは、巣立ってずつと経つてからありますが、この大変な時代に以前とはたとえ違う形であつたとしても知恵と工夫で新たな形の学校生活を過ごされますように、豊高生であつたことを誇れますようにと心から願ひ、豊高の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## ■What is essential is invisible to the eye.

高36 中村(田中) 康子

10年程前の同期会で、英語科だった担任の先生が当時のLLI授業暗唱文をスピーチに入れてくださり、とても盛り上がりました。

入学して思い知つたのは、LLI授業をはじめ英語授業のレベルの高さでした。特に暗唱の課題が多く苦労しましたが、いまだ覚えていています。加えて、テキストの豊かさは改めて素晴らしいです。初めてのテキストは、絵本版ドン・キホーテ。カセットテープの英国風発音が新鮮でした。そして、当時伝統テキストだった星の王子さま(The Little Prince)。この物語に高校生時代出会えたのも幸運だったと思います。題名にもした一文(大切なものは目に見えない)は、なかでも一番のお気に入りです。サイドリーダーでアガサ・クリスティーの短編に触れたことも印象深いです。スコットランド出身のマイケル・チトルバラ先生の特別授業もあり、語りつくせない宝物の思い出です。

# 豊高は「コロナ」にこう対応した

いまなお、世界を揺るがせている「新型コロナウイルス」。我が豊高にも大波が打ち寄せた。以下は藤縄教頭はじめ関係者の協力を得てまとめた「豊高のコロナドキュメント」である。

写真＝豊中高校提供（古澤頼秋）

学校では……

## 何とか出来た卒業式延期になった入学式

3月2日から4月7日までの大阪府の全校校校処置が決定された中、2月28日に72期生の卒業式が挙行された。3月11日には府下最多の受験者数603人が入学者選抜学力検査に臨み、3月19日に合格者発表。校内への立ち入りは受験者1人のみ、受験番号によって正門・北門・南門から入場し、発表場所まで誘導する対策がなされる。合格者説明会は2グループに分けて行われた。3月23日予定されていた終業式は取りやめ、1・2年生が時間をずらして登校し、通知表を受け取った。3月24日には合格者が登校し、教科書が配布され、諸道具の購入が行なわれた。



無事に終わった72期生の卒業式

12人ずつ30班に分かれて教員が引率した。4月1日新入生の検診が男女別16人ずつの班で行われる。そして緊急事態宣言により入学式は延期、6月18日に実施される。

## 緊急事態宣言

2月26日、府から3月20日までは学校行事は原則として中止または延期との指示が来た。2月28日の卒業式は何とか予定通りに終えたが、遂に緊急事態宣言の発令を受けて、春休みが延長された形のまま、4月8日から5月6日までの臨時休校が決定となる。

この間、登校日の設定も出来ない事になり、入学式などは急遽延期。豊高は「学力保障」「生徒に対するメンタルケア」を第一に対応することを基本方針と決めた。

生徒がいない校内では、新学期開始の時期なのにもどろ対応するか、いろいろな議論をした。



校門に掲示された「臨時休業中」の表示

生徒の学びを止めない、在宅で生活のリズムを崩さずに勉学の環境を保たせることを主眼にした。

4月13日～5月1日を当面の自宅学習期間とし、全生徒に「課題教材」を各学年単位で検討・作成し、担当教諭グループ総動員で発送作業を行なうことになった。

まずは全校生徒分のレターパックの購入。

予算外のことだったので費用の捻出に苦労しながらも4月8日・20日の2回に分けて郵送。全教科を学習出来るように1日7限分の時間割を作成。各生徒は時間割通りに課題に取り組み、質問等は全てオンラインで対応し、各自のチェックシートで学習の進捗状況を確認するといった対応策だった。オンラインでのやり取りは藤縄教頭のもとで情報を一元化した。1年生からの質問が多かったという。

1回目の発送を終えてホッとする暇もなく、「緊急用マスク」が送られてきた。これも急いで全生徒に発送せねばならず、一時は大変だった。

クラスメートが誰か分からない状態での学校の始まりとなったが、クラス担任が連絡をしっかりと取って、生活面での不安・学力の不安などのメンタルケアに努めた。



全生徒への発送を待つレターパック

5月6日に緊急事態宣言の延長が決定される。5月11日からオンライン学習のスタートとなったが、各家庭とも生徒たちのオンライン環境は整っており、スムーズに行なうことができた。登校日の設定が可能になったので、事前・事後の職員による消毒作業の徹底。校内の消毒液等の準備。密を避ける授業形態の構築。昼食指導の徹底等の対策が決定されていく。

5月25日政府により緊急事態宣言の解除

がなされ、6月1日からクラスの半分ずつでの半日授業を開始した。出席簿の前半20番までの生徒は午前の授業、21番以後の生徒は午後の授業と、午前と午後に分けての授業を実施し、段階的に学校が再開されていく。だが部活はまだ認められない。

6月12日の職員会議において年間の授業日数確保のために年間行事予定を変更することとした。▽土曜日に授業や考查（中間・期末試験）を組み込む▽8月7日までは1学期とし夏季休暇は8月8日から▽2学期は8月21日～12月25日▽3学期は1月4日からと決まった。

1学期の終業式も2学期の始業式も放送によって行なわれた。



教職員による消毒作業

過去に経験のない手探りの状態の中で、豊中高校の1年が始まった。

## 生徒たちでコロナ対策の文化祭 演劇は「くちパク」で上演

9月5日・6日に文化祭が開催された。本来ならば生徒会が中心となって進められる文化祭だが、今年は臨時休校のために生徒自治会の役員選挙を行うことができず、生徒会が無い。そんななか昨年度の役員たちが中心となって、文化祭の準備を進めた。飲食模擬店は禁止。例年、柔剣道場で行われていた3年生の演劇ステージは体育館に設置された。ステージの台詞発声での観客席への飛沫飛来を防ぐために演者と声優を分けて作品を作った。いわゆる「くちパク」である。

一般の外部公開は取りやめ、参加できる保護者は生徒ひとりにつきひとりのみで

ケット制。感染者を出さないための対策をしっかりと考え、見えないコロナと戦いながら文化祭を開催した。この経験は、必ず未来に生かされるだろう。



文化祭ステージでの演劇

## 体育部の部活

### 体育系の部活、いっせいに停止 野球部は甲子園大会予選なし

一斉休校の余波は体育部の部活にも及んだ。2月28日、3月1日、4月7日まで生徒の登校が禁止され、部活が全面禁止になった。さらに4月2日には5月6日までの臨時休校が通達され、部活はすべて中止。完全に冬眠状態になった。

4月26日全国高校体育連盟(高体連)は「今年インター杯は中止。8月までに開催予定の各大会は中止、9月以後に予定の大会は都道府県で状況を見て決定してほしい。特に3年生に高校最後の出場機会を考えるとほしい」旨の通達をした。

一方、高野連(全国高校野球連盟)の意思決定は遅れた。5月20日「夏の甲子園全国大会中止」のニュースはTVはじめマスコミであつとつ間に広がり、福田野球部部長(体育科)が部員たちに伝える前にみんなスマホなどで知っており、各自で今後の対応などを議論していた。部長自身も正式連絡までの間、スマホなどの情報が入り乱れる中での対応だった。

その後、地方予選大会に代わる「令和2年大阪府高校野球大会」の開催が決まった。スタンドへの入場は選手と3年生の保護者。大声での声援禁止。ベンチ入りの選手・監

督はマスクをつけ、試合後はベンチ内を消毒。例年の出場登録選手は20人だが特例として30人に増員された。我が豊高チームは2・3年生で29人。1年生部員のジャンケンであと1人だけを登録した。ただしベンチ入りは従来どおり20人。でも3回戦までよく頑張った。いま野球部員は50人。普段の練習に戻った。

他にも硬式テニス部などが頑張った。

## 豊高スポーツ

### ■硬式野球

▽令和2年大阪府高等学校野球大会

(1回戦)豊中7-0英真学園(7回コールド)

(2回戦)豊中7-0緑風冠(7回コールド)

(3回戦)関大7-2豊中

▽令和2年秋季高校野球大阪府大会

(2回戦)豊中13-12大阪星光(9回サヨナラ)

(3回戦)箕面学園11-4豊中(7回コールド)

### ■硬式庭球

▽令和2年大阪府高等学校秋季テニス大会

(1部)兼近畿高等学校テニス大会(団体の部)

大阪府予選

(女子団体1回戦)豊中4-1大手前

(2回戦)浪速5-0豊中

## 豊陵会

### 狂った予定変更に対応 臨時会議や調整に追われる

豊陵会事務局も「コロナ」で忙しさが倍化した。事務局は百周年実行委員会の事務局を兼ねており、予定された行事や会議をどうするか、両方にまたがる事項の調整に追われた。ヒトが集まる会議を極力避けつつも予定行事開催について急ぎ検討せねばならなかった。

休校が長引いても学校の機能は動いている。政府の緊急事態宣言を受けて5月7日

まで事務局員の出勤を減らし、事務局長が留守番役を引受けた。平常勤務の現在も執務中はマスク着用、事務局への出入りにはアルコール消毒の励行、ドアを開け扇風機で換気をつける。

3月3日百周年実行委員会で「豊陵ホール」新設など「特定寄付」による予算案と業者選択方針、「一般寄付」による予算案が承認された。併せて4月3日「加古隆・ピアノソロンコンサート」、来年5月7日「100周年記念式典・祝賀会の開催を確認した。しかしコロナ情勢は悪化の一途、3月15日の臨時検討会で「加古隆・ピアノソロンコンサート」は9月18日に延期と決定し、ホームページへの掲載、豊陵会報への掲載を手配した。

この日の「特定寄付」による事業の決定で「豊陵会ホール」はじめ液晶プロジェクトの授業教室への設置など教育施設の工事は夏休み中に終り、休校中の学校運営にも寄与した。

3月31日豊陵会臨時役員会で、5月31日開催予定の総会を10月25日に延期すると決定。

このころ、4月から秋にかけて計画されていた各期の同期会が次々と延期や中止を決めた。豊陵会報は印刷直前まで進んでいた編集を変更して「コロナ情報」を掲載。発行日付を4月25日に遅らせた。

7月1日役員会で▽10月1日の第19回ゴルフコンペは予定通り開催▽10月25日に総会開催日変更と、2021年5月の総会開催を見送って5月7日の「100周年記念祝賀会」参加募集に注力することを8月1日の幹事会に諮って正式決定する▽「加古隆・ピアノソロンコンサート」は9月18日に予定通り開催と決定。

8月1日幹事会で今年のゴルフコンペは中止し、来年に「100周年記念コンペ」を開催する▽「加古隆・ピアノソロンコンサート」を再延期して2021年3月12日に開催を承認し、▽10月25日に延期した総会は中止して2021年5月7日の「100周年記念祝賀会」への出席を広く呼びかけることを10月25日の幹事・評議員会に諮ると決めた。

まだまだ続く「コロナ騒ぎ」である。

## 39.3度

### 豊中が全国一を競う暑さに

80年前は最高36.8度

コロナ騒ぎ中の8月21日、豊中の最高気温39.3度が全国一を競う暑さとして報道された。豊中の観測地点は大阪空港滑走路のすぐ横。伊丹・豊中両市が市域を決めたとき空港の真ん中に小さな豊中市の「飛び地」が残った。ここに観測機器が設置され豊中の観測地点となった。実質は「伊丹市」「大阪空港」の気温である。「全面アスファルトの滑走路なら気温が高い

のは当然」「空港は広くて風通しがいいから、それはないだろう」と話題はにぎやかだ。

旧制豊中中学で昭和6年に創立10周年を記念して気象クラブが誕生し1年後に気象部になった。部員は当番制で気象観測のほかには天気図を読んで豊中の天気を予測し、的中率平均70%前後だったことを「校友会誌」に掲載している。

掲載されている観測記録は奇数月のみだが、昭和14年8月の記録がある。最高気温36.8度、平均28.0度である。最近の豊中の最高気温の平均は31~32度である。



コロナ禍中の進路指導部から

# 思考力・判断力の充実へ

4・5月は郵送やオンラインでの課題、動画などによる自宅学習が中心であり、6月の前半は1クラス20名での分散登校授業となり、授業や進路指導へ対応の遅れが出ました。

しかし、長期休業や土曜日を活用して授業日を補いながら授業進度を予定通りに戻しつつあるところです。

新型コロナウイルスとは無関係に、今年度は大学入試に関わる制度の大きな変更が2点あります。1つは「AO・推薦」の名称が「総合型選抜・学校推薦型選抜」へと変わり、日程が後ろ倒しになりました。2つ目は「センター試験」が「大学入試共通テスト」と名称が変わり、より思考力・判断力を問う問題へと変更されるという点です。

また、今年度の共通テストについては新型コロナウイルスの影響で、現役生のみ第一日程からそれよりも2週間遅い第二日程のどちらかで受験するのを選ぶよ

うになりました。

学業の遅れを感じている生徒は第二日程を選択できませんが、3年生である73期生は全員が第一日程で出願し、99%の受験率となっています。また、例年と比べて国公立大学への推薦出願者が多くなっています。

以上のことから、3年生はこの不安定な状況に惑わされることなく、自らの志望に向け、意識を高くし、志望校合格への道を歩もうと感じています。

今年度は様々な問題があり、生徒も教員も不安があることは勿論ですが、これまでと変わらず、模試や講演会等の進路イベントも減らすことなく、情報提供を十分に行い、生徒の不安感を払拭できるように教員全体でサポートをしています。

(進路指導主事 日垣知也)

## 令和2年度職業別進路講演会開く

令和2年9月17日 豊中高校

11名の卒業生が講師として参加した講演会は、北海道修学旅行引率中の平野校長のテレビ電話通信にて、「かつて同じ校舎で学んだ先輩達の現在の姿が、一年生に具体的な良い影響となり、夢の影らむ講演となると思います。」との挨拶で始まった。講演は、30分の同じ内容を前半後半と2回、それぞれが行なう。一年生は、予めそれぞれ第一希望・第二希望で受講希望をとったが、すべてが第一希望での受講となった。講演を終えて、講師からは「よく聴いていて、こちらの伝え方の良し悪しが、よくわかるメリハリのある反応だった」、また「動画や遠隔で行う不安がありました、直に教壇に立つ方がしっかりと反応が伝わり、訪問させてもらってよかった」と感想があった。この講演会の次月に、生徒たちは文・理科のいずれかを選択する。

今年の卒業生講師（敬称略、順不同） 酒匂建文（高42公認会計士）、長谷川万里子（高53公務員）、西川倫史（高40会社経営）、安威俊重（高41エンジニア）、小林知博（高42大学教授）、鶴丸達也（高34建築）、守本正宏（高37人工知能）、新見行人（高41医師）、佐々木章（高46弁護士）、幸尾菜摘子（高56弁護士）、樋口高広（高41歯科医師）



## 2020年度の大学別進学者数

2020年度の大学合格発表後、実際に入学した大学の人数を表しております。（ ）内は現役合格者数です。

【国立大学】 京都6 (3)、大阪57 (42)、神戸31 (23)、北海道6 (3)、弘前1、東北1、千葉3 (2)、東京農工1 (1)、一橋1 (1)、福井1 (1)、信州3 (2)、名古屋2 (1)、滋賀1 (1)、滋賀医科1、京都工芸繊維7 (3)、大阪教育6 (6)、奈良教育1、奈良女子3 (2)、鳥取1 (1)、島根1、岡山5 (2)、広島4 (2)、徳島3 (1)、愛媛1 (1)、高知2 (1)、九州3 (1)、九州工業1 (1)

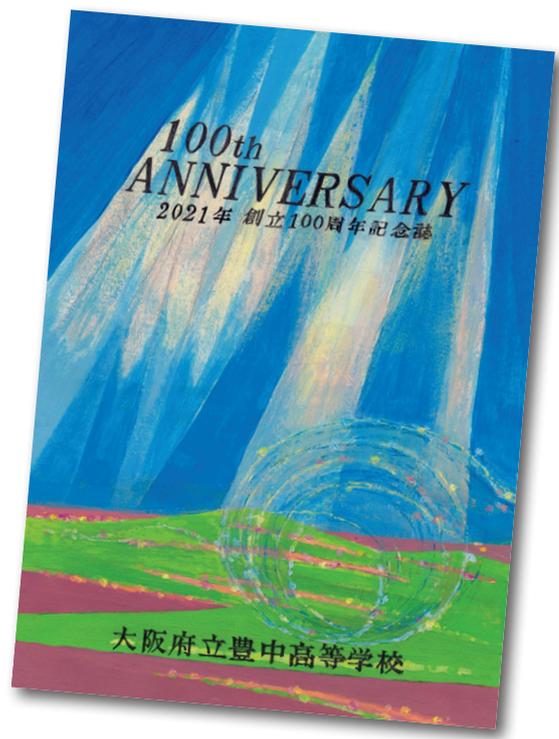
【公立大学】 大阪市立20 (16)、大阪府立18 (12)、埼玉県立1、福井県立1、京都市立芸術1 (1)、京都府立3 (1)、京都府立医科1 (1)、神戸市外国語4 (4)、兵庫県立6 (4)、奈良県立2 (1)、和歌山県立医科1

【私立大学等】 同志社37 (30)、立命館30 (25)、関西17 (15)、関西学院21 (17)、酪農学園1、慶應義塾3 (2)、国際基督教1、上智1、中央1 (1)、東京慈恵会医科1 (1)、武蔵野美術2、明治学院1 (1)、立教1、早稲田5 (2)、洗足学園音楽1 (1)、中京1、京都産業1 (1)、京都女子4 (4)、京都薬科4 (3)、京都橘2 (2)、同志社女子4 (4)、龍谷3 (2)、大阪医科2 (1)、大阪学院2、大阪工業1 (1)、大阪薬科1 (1)、関西医科2 (2)、関西外国語1 (1)、近畿13 (9)、藍野1 (1)、千里金蘭1 (1)、甲南3 (3)、甲南女子1 (1)、神戸女学院1 (1)、神戸薬科1 (1)、武庫川女子1 (1)、大和3 (2)、神戸女子短大1 (1)、東京ビューティーアート専門学校1、DouglasCollege1 (1)、SantaBarbaraCityCollege1 (1)

予約申込み受付開始！  
いよいよ2021年5月刊行

# 豊中高校 「創立100年誌」

グラビア・資料ともA4判300ページ  
単価 送料とも5,500円  
予定発行部数に到達次第、締め切ります



◎この会報に同封の「申し込み用紙」をお願いします

1921年「北野中学での入学試験」から  
2020年「コロナ騒動」までの歴史を  
コンパクトな350編の読み物と写真で編集

- こんな記事も・・・
  - 校舎の場所が決まらず「13中学」のまま仮住まいの学校だった
  - 初出場の夏の甲子園では優勝候補の一角だった
  - 市会で廃校が決議された戦後の苦難
  - 警官導入にまでなった「豊高紛争」
  - GLHS指定校に応える実践的授業
- 歴史の背景を語る「コラム」ページ
  - 市立豊中高女の歴史／校章が決った歴史／ハンドボール部の活躍  
自治会の活躍など9編
- データ
  - 全クラブの盛衰が分る「部活の歴史」
  - 卒業生数一覧

編集・発行 豊中高等学校創立百周年記念事業実行委員会 記念誌部会

同期会、クラスOB・OG会だより

お知らせ  
「コロナ」の影響で同期会、クラブOB・OG会の開催がなく、このようなページになりました。開催再開の時にはどんと報告をお寄せください。300字。メール送信での写真は印刷しても不鮮明になるので、メディアなどで現物をお送り下さい。次号は6月20日付発行。原稿は4月20日締め切りです。お待ちしております。

■美術部卒業生の会「ぷりずむ」  
【第11回ぷりずむ展】を開催

令和2年9月29日から10月4日まで阪急・石橋の「画廊ぶらんしゅ」で第11回ぷりずむ展を開催した。本会は17・18・19期の美術部員6名で2年ごとに開いているもので、20年継続できたことに感慨ひとしおであった。

コロナ禍での開催でお客様に来ていただけたのか不安もあったが、例年に増して大勢が来てくださった。平野校長はじめ諸先輩、後輩はもとより、久しぶりの知人、友人と話し弾み展覧会ならではの醍醐味を堪能することができた。

写真は、来場できなかった鎌倉在住・写実画壇の山内氏の絵を囲んでの記念撮影。

出展者は次の会員です。山縣文則（高17）＝絵画・造形。山内滋夫（高18）＝絵画。久保田（福谷）雅江（高19）＝彫金・七宝。長谷川（岡地）綾子（高19）＝織。長谷川（古川）博子（高19）＝絵画。飯田誠（高18）＝絵画。（高18飯田 誠）



編集部から 校内モニユメントの作者情報をお寄せください。

西側校舎の間に作者のわからないモニユメント(写真)があり、情報をお持ちの方は、豊陵会事務局までお知らせください。お願いいたします。

豊中・豊高と仲間と想い出を大切につづります。  
103号編集部:高48古澤頼秋・高37南里吉彦・  
高29蛸名美佳・高9大久保孝・  
高8神保雅明・高3妹尾景行



■はぎのアンケートから  
「豊高時代・青春の頃」について質問  
▽高28 松井 豊  
Q1・修学旅行はどうでした？  
・長野で山のぼりでした。宿も同じで本当に楽しく、観光だけの旅行でなく、当時としては斬新で満足してました。  
Q2・下校途中の寄り道は？  
・昌文堂に寄って立ち読みしました。おばあちゃんの顔がうかびます。  
▽高54 徳重美紀子  
Q3・名物先生は？  
・先生それぞれが個性的でももしろかったです。「やまいち」先生の授業中のしようもない話や教壇の上をピョンと跳ねる所がかわいかった。  
Q4・体育大会の想い出は？  
・皆でうちわを作ったり、「舞」の練習をしました。おそろいの格好をして楽しかったです。  
Q6・あなたの同窓会といえば？  
・卒業以来、ほとんど会っていないので、よくわかりません。

■奏で続けたい、小島紀子先生に  
教わった音楽のすばらしさ  
「紀ちゃんと一緒にの会」

（=教え子の集い）活動を広める

小島紀子先生は高9期生で昭和44年～平成13年まで母校の音楽科を担当。昭和44年の「豊高紛争」のあと生徒の心を静め全校の一体感を盛り上げようと豊高音楽会を提唱された。そして、小島紀子先生の教え子の集いである「紀ちゃんと一緒にの会」（会長・古澤一雄＝高24、副会長・児玉健太郎＝高44）が昨年50周年記念演奏会を終えた直後に逝去された。小島先生の一周年を機会に同会が「豊中高校・小島紀子先生 音楽の思い出」を7月6日からWEBサイトで公開した。豊高音楽会の全楽曲を開催年度・曲名のクリックで検索できる。

下記URLで「新規申込」をクリック、卒業期・名前を送信すれば折り返しパスワードが送られてくる。

また、故小島紀子先生の希望で、第1回～第32回「音楽会」のオリジナルプログラムが、この機会に同会から豊陵会へ寄贈された。

いま蘇る「音楽会」の感動

URL : <https://toyoko-kojima-music.com/> へ！

「豊中高校・小島紀子先生 音楽の思い出」WEBサイト公開

豊高音楽会の楽曲705曲

「紀ちゃんと一緒にの会」創立45周年・50周年記念演奏会

→小島紀子先生のソプラノ独唱がご覧いただけます（45周年）

などが視聴できます。是非、懐かしい豊高生時代へタイムスリップして下さい！！

なお、限定公開サイトのURL・パスワードは、他人へ教えないようお願い申し上げます。

追伸：年明けには、小島紀子ソプラノリサイタルとリープクラインネス・コンチェルトでの小島先生の貴重な歌声をお聞きいただけるよう追加する予定です。ご期待ください。紀ちゃんと一緒にの会



全体合唱(2019年6月29日)

延期続く各期のつどい

- 高14期同期会 10月24日開催予定を延期して2021年10月22日(金)13時からヒルトン大阪で開催
- 高15期喜寿記念同期会 10月24日開催予定を延期し、2021年10月22日(金)13時～15時に開催。日程のみの決定で詳細は決まり次第お知らせします。(世話役代表木村榮治)
- 高16期同期会・第13回銀杏会 6月11日の開催予定を延期。詳細決まりましたらご連絡します。

人数制限で開催します

- 関東高8会 例年25名以上の出席で開催してきたが、今回はコロナで会場のスペースの関係で定員13名に限定して予定通り開催。10月30日(金)11時30分～新宿住友ビル「住友クラブ」。(幹事中西裕)

●会員数(2020年3月5日現在)  
卒業生数 37,051人/旧職員 857人  
現職員 104人/連絡可能者数 21,900人  
●会報発行部数  
発行部数 23,500部/会員発送数 22,400部/学校配布 1,100部

編集発行 豊陵会報編集部(大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内)  
発行 令和2年11月20日 発行人 高坂 敬三  
事務局 〒560-0011 豊中市上野西2丁目5番12号(大阪府立豊中高等学校内豊陵会)  
☎(06) 6849-4973(FAX兼用) ホームページ <http://www.houryou.org>  
メールアドレス [office@houryou.org](mailto:office@houryou.org) または [kaihou@houryou.org](mailto:kaihou@houryou.org)  
デザイン 風屋合同会社 印刷 株式会社廣済堂

# 100周年、お祝いの宴!!

母校の100周年をみんなでお祝いしましょう



大澤美穂さん



辻本玲さん



尾崎勇太さん

日時 2021年5月7日(金曜日)  
午後5時30分受付 6時30分開宴です。  
終宴予定は8時30分。  
会場 ホテル阪急インターナショナル 紫苑の間  
会費 10,000円(当日お支払いいただきます)

豊中高校卒業生の音楽家の皆さんが演奏で花を添えてくださいます。

ピアノ 大澤美穂さん(43期)

チェロ 辻本玲さん(54期)

フルート 尾崎勇太さん(67期)

司会進行は桂枝女太さん(豊友会)です▶



また式典で講演をしていただくペシャワール会の村上優会長(20期)も来ていただける予定です。ぜひこの機会にみんなが集まりませんか。

**案内状を送ってほしい!**

とおっしゃる方へのお願い

参加ご希望の方は恐れ入りますが、同封の「豊中高校創立100周年祝賀会」開催案内の送付申込の用紙でお申込ください。右のQRコードからの入力お申込も受け付けています。あらためて案内状を送らせていただきます。まだ先の話なので予定が立たない!とおっしゃる方、今の時点での予定で結構です。2020年12月末までにお申込ください。



なお参加希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。皆様のご参加、お待ちしております。

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止も含めた予定変更も有り得ます。その場合、出席予定の皆様方にはあらためてご連絡させていただきますので、必ず連絡先をご記入くださいますようお願いいたします。

100周年記念事業実行委員会兼豊陵会事務局  
FAX番号 06-6849-4973 メールアドレス office@houryou.org